

年若い老人からの言伝ことづて

奈落で 雲の糸を 待ち望む

小鬼のような 負けん気を

年若い老人が

ご家族に対する 感謝の気持ちと

多少の憎まれ役を 勝ってでて

あなたがたの ご苦勞を

軽くして さしあげているのです という

情けある 年若い老人を 介して

「死ヌまで 元氣デ 生キル」と

笑って 語った人の

邪氣のない 口調が 浮かぶのだが

希望通りには してあげられない

「死ヌまで 元氣デ 生キル」と

聞いたとき

うしろめたさと ばつの悪さに 包まれた

今日も することのない老人が

そっと しのばせた

青ざめた ことばのおもいに

さくら色の光が さしたのは

年若い老人の耳が あったから